



Irisawa Makoto

Minohara Yoshimitsu

院長
入澤 誠
いりさわ まこと

福岡大学医学部卒業。福岡大学医学部精神医学教室入局、西園昌久名誉教授に師事。福岡県立太宰府病院(現福岡県立精神医療センター太宰府病院)、伊敷病院(鹿児島市)勤務を経て1999年福岡大学医学部精神医学教室助手・デイケア医長。2002年油山病院勤務、統合失調症の治療・リハビリテーション、勤労者のうつ病・復職支援などに取り組む。2020年4月油山病院院長に就任。

理事長
三野原 義光
みのらは よしみつ

埼玉医科大学卒業。福岡大学医学部精神医学教室入局、西園昌久名誉教授に師事し力動的な精神療法・精神科リハビリテーションを学ぶ。福岡病院、いぬお病院を経て1996年福岡大学医学部精神医学教室助手。1999年油山病院医局長、2002年油山病院院長、2007年医療法人浜江堂理事長就任、油山病院院長を兼務し精神科急性期および精神科救急病棟を導入。2020年4月より理事長職に専念。

就任ご挨拶

医療法人浜江堂 油山病院

院長
入澤 誠

4月より院長に就任いたしました。

油山病院は開設58年を迎える精神科病院です。2002年から現理事長のもと運営を進め、現在は①精神科救急・急性期治療・精神科リハビリテーション②認知症の治療・リハビリテーション③地域連携によるより効果的で最適な治療環境の提供④地域活動への様々な参画、を柱に力を注ぎ病院運営を行っております。

昨今、我が国の医療を取り巻く環境は医療費削減へと舵取りが行われ、厳しい環境下での運営を強いられることが続いております。精神科医療も同様のことが言えると思います。

入院においては急性期治療に重きを置く一方で、長期入院を防ぎ、地域で暮らす利用者の方々のための医療体制の構築がより求められています。また、認知症を含めた高齢者の精神疾患の治療にも力を注がねばなりません。そのため、それらを強みとする医療を実践していく必要があると考えております。

油山病院では先に述べた4つの柱を軸に各関係機関・関連病院、地域の病院、クリニック等とより一層の連携を図り、地域の皆様や医療関係者の方々の役に立てる最良の精神科医療が行える病院を今後も目指して参ります。

対談

患者さんとの時間を大切にする当院の治療観

司会 ■お二人は同時期に福岡大学医学部精神医学教室において現名誉教授の西園昌久先生のご指導のもと研鑽を積まれたご関係ですね。
三野原 ■はい。入澤先生も私も西園昌久先生から精神科医療に携わる者は患者さんの人間性に強くかかわり、尊重する謙虚な態度が必要であることを学びました。決して患者さんに失礼なことをしてはならない、患者さんに真摯に向き合う気持ちが大切である、とご指導いただきました。別の言葉に置き換えれば「患者さんとの時間を大切にする」。まさに当院の治療観です。

入澤 ■私も同様です。当時、精神科医になったばかりの私には横になって過ごすことの多い入院中の患者さんが、精神科リハビリテーションを経て元気に回復していかれる姿を目の当たりにした経験は驚きでした。できるだけ多くの患者さんにそのように

専門性の高い mECT・クロザピン治療、パーソナリティ障害の入院治療も。
司会 ■現在、力を注いでいる治療やサポートは何ですか。
三野原 ■私としては、わざわざ東京や特定の都市に行かなくても福岡で受けられる精神科先進医療を提供できるようにしたいと日々考えています。まず、難治性の統合失調症うつ病・双極性障害の方を対象とする修正型電気けいれん療法（mECT）が得意です。ご承知の通り、すでに高い有効性と安全性が確認されている精神科領域の先進医療の一つです。当院ではmECTマニュアルの適応判断に基づき、常勤の麻酔科医（精神科医）が施行し、直接的に症状安定や早期退院に結びついていますね。
司会 ■クロザピン治療も積極的になさると伺いましたが。
入澤 ■はい、クロザピンは既存の薬物治療に抵抗性を示す統合失調症例に高い有用性を示す薬剤として、世界的に承認されています。本年4月に国はクロザピンの使用を促し、患者さんの退院促進・

回復していただきたいとも思い続けています。

精神科医療は大きく変化した
——早期退院し
——地域移行を実現——

司会 ■さて、院長在任中の約20年で精神科はどのように変化しましたか。
三野原 ■当院は2001年に当時まだ全国でも数少ない精神科急性期治療に特化した病棟の運営を開始し、2017年には応急入院指定病院の指定を受け、2018年には精神科救急病棟を有するに至りました。

この期間を振り返って特徴的なことは2つ。ひとつは精神科にはなかった救急・急性期治療に特化した病棟が増えたこと。もうひとつは多職種がかかわる精神科リハビリテーションを通して長期入院患者さんの地域移行が進むようになったことですね。もちろん精神科の薬が良くなったことも大事な要因です。
入澤 ■そうですね。地域移行に関しては、病院だけでなく地域の支える仕組みが整ってきたことが背景にあります。患者さんにとっては良い流れ

社会復帰を推し進める方針を打ち出しましたので、当院も積極的な使用を推奨していきます。

司会 ■安全性はどうですか。
入澤 ■ごく稀に白血球減少症など重篤な副作用を起すことがあり、副作用の早期発見や悪化防止のため定期的な採血などの検査を続けることが義務づけられています。当院は医師・薬剤師・看護師が所定の研修を修了した登録医療機関として、福岡大学病院腫瘍・血液内科との院外連携の態勢も充分整えていますので、ご安心ください。
三野原 ■この他に先生方の確定診断補助となる光トポグラフィー検査も気軽にご利用いただければと思います。また臨床心理士による各種検査もクリニックの先生方に良い評価をいただいているようです。
司会 ■新たに入院プログラムを開発中だそうですね。
三野原 ■パーソナリティ障害を専門とする当院の常勤医師が、20床の病棟での専門的な治療プログラムを準備中です。こちらは近日中にご案内できる予定です。

精神科救急・急性期治療こそ 当院の使命。

- 精神科救急・急性期
- 認知症対応
- 精神科の先進医療



理事長
三野原 義光
精神科医、精神保健指定医、日本精神科医学会精神科臨床専門医、日本精神神経学会精神科専門医、日本精神神経学会精神科指導医、福岡産業保健推進センター産業保健相談員、認知症サポート医、福岡市精神医療審査会委員

になってきているように思います。また、以前は統合失調症の方への治療・リハビリテーションが主でしたが、現在は勤労者の方で精神疾患により休職・失職された方などが増え、それらの方々のサポートも必要になるなど、精神科リハビリテーションの対象者も病院機能も拡がりを見せています。

地域の救急医療のニーズ、認知症対応に配慮
司会 ■地域における貴院の使

「また お願いしたい」と 言っていただけの治療を。



院長
入澤 誠
精神科医、精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医、日本精神神経学会精神科指導医

地域の先生方のお悩みに応えられるように
司会 ■入澤院長、病病連携や病診連携についてお話しください。
入澤 ■私は「一般病院・クリニックの先生方や精神科クリニックの先生方が精神科領域の臨床的な面でこんなことで悩んでいらつしゃるとは知らなかった、気が付かなかった」ということが多いんじゃないかと思います。例えば、睡眠薬や抗不安薬、抗精神病薬

命や役割については、どのようにお考えですか？

三野原 ■最も重要な油山病院の使命は地域医療における精神科の急患の受け入れに24時間365日対応することにあります。そのための医師を含む医療スタッフも充足しています。残念ながら身体的な治療が優先される場合に限り受け入れできませんが、それ以外は鋭意対応させていただきます。
司会 ■認知症の高齢者についても地域の要望が多いと思われませんが。
三野原 ■私どもは福岡市内の精神科病院としては唯一、介護老人保健施設（認知症対応型介護老人保健施設から）が有しています。

そのため、当院の救急急性期病棟での3カ月治療でご退院が難しい場合は、併設施設での短期集中リハビリテーションを受けていただくことが可能です。
その後、患者さんが在宅に戻られても、何かあった時には、いつでも安心して相談いただける態勢を整えています。

の減薬に取り組みのが難しい場合などあれば、ご相談いただき、こちらから「そういう患者さんのお悩みであれば減薬目的の期間限定の入院治療ができますよ」というご提案ができることもあります。当然ですが、ご紹介の先生方の治療のお役に立てるような当院の入院治療でありたいと思います。そして、「また油山病院にお願いしよう」と思っていただけのような医療を提供していきたくです。「油山病院にはあんな医師がいないのかなか治療の結果がいいよ」とおっしゃっていただけだと思います。ですから、可能な範囲でいろいろな先生方とお会いし顔の見える関係も築ければと考えています。

三野原 ■一般科の先生方にも、精神科領域の問題についてお気軽に相談いただきましたと思います。ただ精神科には精神保健福祉法などの人権を守るための法律的な規定がありますので、わかりづらい。それは私たちの啓蒙活動が足りない部分ですね。入澤先生、いろいろな工夫もしまし、ながら地域医療に貢献してまいります。

〈対談開催日 令和2年3月6日〉

入澤 誠 ふだん着の私

通勤はいつも自転車ですか?……寒い時期はついつい車になってしまいます。気候が良くなると、基本は自転車です。どこにでも立ち寄れるので自転車は良いですね。
趣味は?……ジムで体を動かすこと。山登り。
お休みの日は何を?……老眼になってから読書の時間が減りました。食材を買いに出掛けたりします。
ご家族は?……妻と3人の子ども(長女・次女・長男)それとトイプードル(オス)との暮らしです。
今一番やりたいことは?……屋久島に行きたいです。1週間程度滞在してみたいですね。



医療法人浜江堂 経営理念

- [基本理念]** 浜江堂は、受け継がれた伝統の下、「和」と「活力」と「信念」を以って業務に当たります。
- [経営方針]** 浜江堂は右記の項目を実現するために常に目標を掲げ、合理的経営を実行します。

- [3つの約束]** 利用者への約束 ● 浜江堂は、利用者に安心かつ安全なサービスを提供し、職員はその実現のために「自己研鑽」に努めます。
 - ・安心 ・安全 ・自己研鑽
- 地域への約束 ● 浜江堂は、地域社会との調和を重視し、「こころの健康」を支えます。
 - ・調和 ・開放化 ・啓蒙活動
- 職員への約束 ● 浜江堂は、可能なかぎり職員が安心して働ける環境を整備し、生活の向上に努めます。
 - ・労働環境 ・生活環境 ・自己実現

油山病院 INFORMATION

油山病院の 治療とサポート

当院では地域の先生方のニーズにお応えできるように、以下のような治療プログラムとサポート体制を整えております。ご相談やお問い合わせは地域医療連携部(看護師3名+精神保健福祉士12名)が承ります。何卒お気軽にお電話くださいますようお願い申し上げます。

油山病院 地域医療連携部 電話 **092-871-2261** (代)

入院治療

●精神科の急患対応

精神科救急病棟あり。24時間365日急患対応。原則3カ月以内の退院を目指す。



●修正型

電気けいれん療法(mECT)

保険適用

難治性の統合失調症、うつ病、双極性障害などの方に施行。常勤の麻酔科医(精神科医)が対応。



●クロザピン治療 保険適用

クロザピン治療の登録医療機関。福岡大学病院腫瘍・血液内科と院外連携の体制。

●パーソナリティ障害の方の 入院治療プログラム

現在パーソナリティ障害の方のための専用病棟を整備し、専門的な治療プログラムを準備中。

●高齢者の入院治療と、 併設老健施設でのリハビリテーション



3カ月の救急・急性期の入院治療後、在宅復帰が難しい場合は併設老健施設からざステーションでの短期集中リハビリテーションをご案内。

確定診断の補助となる検査

●光トポグラフィー検査

保険適用外

うつ病、双極性障害、統合失調症などのうち、いずれの可能性が高いかを判断する検査。



●いろいろな心理検査

知的能力、パーソナリティ特性、認知機能などの検査依頼に対応。その他、適切な検査の提案も可能。



通所(精神科リハビリテーション)



●リワークプログラム

職場復帰が目的の治療プログラム。日本うつ病リワーク協会正会員医療機関。



●いろいろなデイケア

統合失調症の方のデイケア、気分障害の方のデイケア、高齢者のデイケアあり。

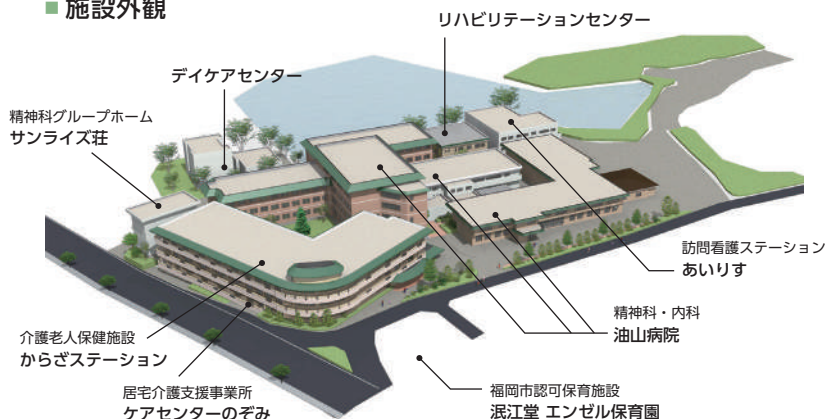
在宅支援

●精神科訪問看護

病状悪化や再入院を予防。現在スタッフ20名在籍。24時間365日のサポート体制。



■施設外観



精神科・内科

油山病院

精神保険指定 応急入院指定

〒814-0171 福岡市早良区野芥5-6-37

TEL.092-871-2261 FAX.092-863-2641

許可病床数 280床

診療科目 精神科・内科

専門外来 もの忘れ外来(診療日:毎週火・水曜日)

診療時間 平日 9:00~12:30 13:30~17:00

土・日曜日・祝日 年末年始 休診(急患対応可)

詳しくはWEBで

油山病院

検索

医療法人浜江堂広報誌「みんなだよりPlus」

2020年4月発行 発行・編集/医療法人浜江堂